

令和 6 年度座談会「町長と語ろうまちづくり」（共和地区）

開催日時	令和 6 年 10 月 18 日（金）午後 7 時 00 分から午後 8 時 50 分
場所	共和トレーニングセンター
町民参加者	24 人
町出席者	町長、副町長、教育長、参事兼企画総務課長、地域防災課長、福祉課長、農林課長、会計課長、事務局 2 人

意見交換の概要

〈テーマ 特に定めない〉

[所管課：都市整備課、新東名対策室]

令和 9 年度の開通に向けて新東名高速道路の工事が進んでおり、町道 66 号線についても改修されたが、明日香沢の上の部分について以前は中型車が十分往来できる広さであったが、改修後はカーブがきつく、見通しも悪く危険を感じることから上部で待機しなければならない状況である。地元や観光客の安全を守るためにも新東名高速道路の工事業業者に再度改修するよう町からも現地をよく確認したうえで要望して欲しい。また道路の基準を満たしているとのことだが、高齢者が多い地域であることを踏まえた対応をお願いしたい。

町長： 現地を確認しているが確かに危険であり、そのままにするといずれ事故が発生する可能性があると感じている。町としても要望していくが、まずはどの機関に要望するのが良いのか確認していきたい。

副町長： この件については、今後町長名で関係機関に強く要望していく。地域と一緒に要望を出すかなどについては、検討していきたい。

[所管課：保険健康課]

地元で運営している共和福祉バスでは、健康な方を乗せることが原則であることから介護を必要としている方を乗せることが出来ない。また、介護タクシーの運行の話もあったが、共和地区は狭い道路が多く危険なため運行を拒否されたこともあった。このことから、地域では「介護」ができなくなっている。町が車を手配してそれに介護できる人が同乗して介護していくとか、ホームヘルパー制度を活用してヘルパーの資格を持つ方を増やしてもらって、買い物支援や部屋の掃除などの生活支援をやっていただくとか、今動ける人がいるうちに高齢者を支援するためのネットワークを構築してほしい。官民一体となって検討していただきたい。

町の高齢化が進んでしまっている現状は、以前からわかっていたことだと思う。自分たちがこの地域で安心して暮らしていけるように、もっと早くから対策を講じるべきだったと思う。

福祉課長： 町内には訪問介護ができる事業所がない。町内で介護認定を受けている方の訪問介護

については南足柄市や松田町の事業所からヘルパーが派遣されている。町内に事業所を立ち上げてもらうとか、社会福祉協議会でホームヘルパー事業を実施するとか、まずは町内に訪問介護の事業所等を整備することが必要であり、また整備する際は町が支援していく必要があると考えている。

副町長： ネットワーク構築に対応できる事業所がないということで、今後社会福祉協議会等で実施が可能かどうか検討していく必要があると考えている。

町長： 来年度、農林水産省が実施している中山間の直接支払い制度を介護分野にも適用するよう見直していくという話があった。まだ不明な点が多く、共和地区が該当するかはまだわからないが、町としても研究を行い活用できるものはしっかり活用していきたい。

[所管課：福祉課、生涯学習課]

地域で小地域サロンを開催し地域の方が集まる機会を設けており、意見交換などの場となっているが、こういった場に来てくれない方もいるのが課題だと感じている。

南足柄市では映画上映会が行われているが、山北町では行われぬのかと聞かれた。子ども向けの上映会も行われているが、高齢者向けの上映会も開催していただきたい。

副町長： 生涯学習センターでの映画上映は子ども向けのものがほとんどであるので、今回意見をいただいたので、所管に検討するよう伝える。

教育長： 12月の人権講演会では介護に関する話もある予定である。皆さんからの要望に応えられるよう取り組んでいきたい。

[所管課：全課]

この山間部に住んでいる住民が今後どのようにしたら安心して暮らしていけるのか、町では何か考えを持っているか。

町長： 町民が安心して生活していけるよう、また皆さんの生命財産を守ることが一番の私の使命である。今ある問題に対してどのようにアプローチしていくか、様々な制度を活用していくなどして取り組んでいきたい。皆さんからも様々な意見を頂戴したい。

[所管課：都市整備課]

深沢地区に住んでおり町道の草刈りを2年に1回実施しているが、人口減少や高齢化の影響で動けない方も多くなっていることから実施が難しくなっている。その旨を自治会からも要望して伝えさせていただいている。町も財政的に苦しい状況であると思うが、町道については町で草刈りを実施するようお願いしたい。

町長： 町道の草刈りについては、他地区でも問題となっている。財政の問題もありどこまでできるかははっきりと答えることはできないが、町道の管理は町が行うべきものだと考えている。

共和地区に移動系の防災行政無線が配付され、配付した方の名簿が配付されたがその名簿に電話番号が記載されている方とそうでない方がいた。電話番号はお互いに連絡をとるための重要な情報であることから町から資料等を配付する際には、そういった情報を確認したうえで配付していただきたい。また、資料の修正について依頼したがそれについても時間を要したため、迅速に対応していただきたい。

副町長： 大変申し訳なく思っている。今後このようなことが二度と起こらないように努めていく。

小中学校の体育館について、夏場でも体育の授業や部活で使用していると思うがエアコンの整備はどうなっているのか。また小中学校の体育館は避難所にもなっていると思うが、夏場に災害が起きた場合の災害対策はどうなっているのか伺いたい。

教育長： 全国的にも体育館へのエアコンの設置が課題となっているが、町内においても整備されていないのが現状である。なお、気温が一定の基準以上になった場合は体育の授業などは中断し、エアコンのある教室に避難するなどの対応をとっている。

副町長： 来年度川村小学校の大規模改修を計画している。その際に体育館へのエアコンの設置を検討したが、エアコンを設置しても断熱がされていないので、効果がないことがわかった。また、断熱対策には大きな金額がかかることからすぐには対応できないが、国が補助金を出すという動きも見られることから、そういったことを踏まえて今後検討していきたいと考えている

共和福祉バスの経路以外に住んでいる人は、通学でバスが使えない。以前バスが通る場所まで送るので、子どもを送迎して欲しいと話したが他の遠隔地の人と公平でなくなるということ、福祉バスなので子どもが優先ではないとの理由で断られてしまった。スクールバスと福祉バスの違いはあるのか。また、共和地区に福祉バスとは別にスクールバスを走らせる考えはあるか。今後、八丁地区などに子育て世帯が引っ越してくると聞いているので検討願いたい。地域によっては、通学手当の補助があると聞いた。バスに乗ることができないのであれば、通学手当の補助を受けることは可能かどうか伺いたい。

教育長： 本日、共和地区からも要望をいただいたので、即答はできないが要望があったことを踏まえ検討していきたい。また、通学手当の補助の対象となっているのは、三保・清水・高松地区となっており共和地区は対象外となっている。

副町長： 共和地区を通学手当の補助の対象とするかは今後検討していきたい。スクールバスは小中学生の利用に限定されていたが、国から通知があり一般の方も使えるようにする動きがある。そうなれば利便性が向上するのではないかと考えている。このことから、今後は町でも一般の方が使えるよう検討していきたいと考えている。

町長： 共和地区は、学校が閉校したという理由から対応が遅れてしまっていると反省している。共和地区については、道幅が狭いため小さな車が必要であると思われることから、共和福祉バスを活用できるかどうか検討していく必要がある。ただし、すぐに実施することは出来ないで、当面はスクールバスの経路である道の駅などにお子さんを送り迎えしていただき、そこから送迎できればと考えている。来年の4月からはそういった対応でお願いして、さらにその翌年度から、なんらかの対応ができればと考えている。

[所管課：商工観光課]

ハイカーのための表示を変えていただきたい。現在は、共和のもりセンターから民家をとおりコースになっている。この間、郵便ポストが開けられて、中を盗まれるという事件があったことから、民家を避けるような案内に変えてもらいたい。

副町長： 所管課に伝えさせていただく。

[所管課：商工観光課]

ハイカーが町で「共和はどこですか？」と聞いたところ、「わかりません」という答えがあったということを知った。町民でも共和地区を知らない人が多くいるのではないかと感じている。案内をだすとかPRをもっとしていただくようお願いしたい。

町長： 町外から通勤している職員の中にも細かい地区名を把握していない職員もいるかと思われるので、教育をしっかりしていきたい。また、PR ももっと行っていきたい。

[所管課：商工観光課]

深沢の公衆トイレを管理しており、以前からトイレの改修について要望しているが、少しずつでもよいので改修してもらいたい。日頃の管理できれいにしようと努力しているが、設備が古くなっていることから限界がある。また、汚かったり、怖いと感じたりといった理由から公衆トイレが使えないということで、子どもに自宅のトイレを貸したことがある。町では今後洋式にするなどの計画はあるのか。

副町長： 昨年度も意見としていただいているので、対応していきたい。

町長： 今後計画的に取り組んでいきたい。

[所管課：商工観光課]

先日も大野山のすすきがテレビで取り上げられるなど、今後ハイカーが増えることが予想される。現在もハイカーに道を聞かれることが多いことから観光案内板を増やしていただきたい。また、駅の周辺などに立派な町の観光掲示板があるが、表記が閉校した共和小学校のままだったり、古くて見えづらくなったりしている。

町長： 私へも意見を直接いただいている。大きい立派な看板については費用がかかることなどの理由から改修はすぐにできない状況にある。今後安価な看板を設置していくことから取り組んでいきたい。

[所管課：商工観光課]

山北駅周辺の桜に木が見えないくらいツルが絡むなどひどい状態である。さくらまつりの際など観光客に見せられる状態ではないと思う。現地をしっかりと確認してもらいたい。

副町長： 現地を確認するようにする。

[所管課：商工観光課]

トイレや看板の改修など町の費用の問題で難しいことはわかるが、地域の企業に協賛してもらって、費用を募るなどの工夫していただきたい。

[所管課：地域防災課、都市整備課]

共和のもりセンターから安戸までの間と深沢地区の街灯にツルなどがかかってしまって、見にくい状態であるので対応願いたい。

副町長： 所管課で対応するよう伝える。